



須坂市立小山小学校だより

栃の子だより

平成 26 年 12 月 4 日

No.10

文責：寺島 寿一

栃の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉ゆたかな人

12月10日 ノーベル賞授賞式 (校長講話より)

今年3人の日本人が実用的青色発光ダイオードの発明・開発により、ノーベル物理学賞を受賞しました。ノーベル賞は世界的な賞であり、受賞は科学者にとって最高の栄誉となります。

日本のノーベル賞受賞者は22名となりましたが、過去においてノーベル賞に値する業績を残しながら、ノーベル賞をとれなかった「栄光なき天才たち」がいました。

山極 勝三郎 (やまぎわ かつさぶろう)



1926年
山極勝三郎、フィゼル
医学・生理学賞にノミネート
され、フィゼルにノーベル
賞が与えられる。



1952年
アメリカの研究者により
寄生虫による人工ガンで
ないことが証明される。

現在のガン研究は、山
極の功績に拠る

- 長野県上田市出身
- ウサギの耳にコルタールを塗ることで人工ガン発生に成功
- 創薬によるガンの発生を唱える



ヨハネス・フィゼル
(デンマーク)

- 寄生虫による人工ガン発生に成功

鈴木 梅太郎 (すずき うめたろう)



・1929年
医学・生理学賞は、
エイクマンが受賞



・鈴木論文がドイツ語に翻訳された際に「これは新しい栄養素である」という一行が訳出されなかった

・世界的な注目を浴びず

- 静岡県出身 農芸化学者
- 1910年 当時難病であった脚気について論文を発表
- 1911年 米糠の中の有効成分(オリザニン)を発見
- 1912年 オリザニンを抽出



クリスティアン・エイクマン
(オランダ)

- 米糠の中に、脚気の治療に効果のある栄養素(ビタミン)が存在することを示唆

二人は、ノーベル賞を逃しましたが、その研究結果やそれに至る過程・努力については、素晴らしいものがあります。(山極勝三郎については、信州教育出版社の道徳副読本「わたしたちの道4」に紹介されています)

そして、小山小学校のみんな、一人一人が限りない才能や可能性を持っています。毎日の勉強や運動、絵や習字、掃除やあいさつなどで一等賞になったり、自分だけの輝ける力を持っています。それを見つけ、大事にして、伸ばして行ってほしいと思います。



長野県図工美術
児童作品展
上高井地区代表



第19回 MOA 美術館
須高児童作品展
須坂市長賞



第19回 MOA 美術館
須高児童作品展
須坂市教育委員会賞



第19回 MOA 美術館
須高児童作品展
金賞

平成 26 年度 PTA 講演会 (11 月 18 日)より

長野市戸隠在住の宮下英子さん(人権擁護委員)をお招きし、「私から始めよう ～相手を思いやる心～」という題で、4・5・6 年生と保護者の皆様、教職員がお話を聞きました。

自分の子どもに対して「〇〇さん」づけで呼ぶことで子どもが変わってきたこと、人の悪いところを裏や反対側から見たり考えたりすることで「いい面」が見えてくること、心のやり取りは「顔の表情」「身振りや手振り」「言葉」が大切であることなど、経験を通してわかりやすくお話してくださいました。

また、自らが作詞した「扉の向こうへ」という歌を、ア・カペラで歌ってくださいました。「重い・厚い・固い」扉を開いて、「温かい心を育もう」「明るい明日を見つめよう」「勇気の未来へ進んでいこう」というメッセージが伝わってきました。

この講演会の中で話をすることはありませんでしたが、宮下さんから次の詩を紹介していただきました。日本語補足詩の樋口了一さんが曲をつけて、歌っている映像が YouTube でも見られるので、ぜひご覧ください。

著作権の関係で、ホームページ上の掲載は、控えます。

手紙
ゝ
親愛なる子供たちへ

原作詞・不詳 日本語訳詩・角智織 日本語補足詩・樋口了一

なかよし月間によせて

小山小学校では、今年 4 月に「いじめ防止基本方針」を策定し、全校児童に「いじめは絶対許されないこと」を伝え、「未然防止の取組」「早期発見の取組」等を行っています。

しかしながら、校内でも友だちを傷つける言動や落書きなどがあつたりします。そのときは、全職員で情報を共有し、個別や全校指導などを通して自分自身や自己の行為を振り返られるようにしています。また、私たち教職員も、すべての子どもたちの悩みなどの相談ができる関係づくりの構築に努力しています。お子さんの学校生活等で気になる点がありましたら、学校(245-0242)へご連絡ください。